

2001.10.25 現代日本論演習 II

第3回「論文探索について・補足」(田中 重人)

1. キーワードのえらびかた

2. 雑誌論文の種類

# 【キーワードのえらびかた】

「雑誌記事索引」にはいろいろな雑誌があるので、  
日常的な単語で検索すると、学術論文はヒットしにくい

➡ 適切なキーワードをえらぶ必要がある。

そのためには、その分野の研究を  
ある程度知らないといけない

ある分野の研究にはじめて踏み出すときは、いきなり雑誌論文を探すのは得策でない。

入門書をさがしたり、くわしい人（教員・院生など）に聞いてみるのがいい。

# 【雑誌論文の種類】

★ 雑誌の性質 ……

Peer Review 制の雑誌か？

★ 原著論文・研究ノート・調査報告…

★ 投稿論文と依頼論文

# 【Peer review という制度】

投稿された論文を雑誌にのせるかどうか：

- 新しい内容か？
- 有用性はどの程度あるか？
- 内容は正しいか？

➡ 専門家による審査 (review) で決める

## 通常の審査の手続き：

- ★ 論文のテーマにふさわしい審査員をえらぶ
- ★ 審査員にまわして判断を求める
- ★ 審査員が一致して「掲載可」といえばそのまま掲載
- ★ 一致して「掲載不可」ならのせない
- ★ 意見が割れた場合は編集委員会が判断
- ★ 「条件付」の場合は書き直して再提出・再審査

Peer review をおこなっている雑誌は権威が高い。

ただし掲載まで時間がかかる。

独創的な論文は載りにくくなる可能性がある。

# 【原著論文その他】

- ★ 原著論文 (ふつうの論文)
- ★ 研究ノート・調査報告など ……原著論文より質は落ちるが、速報性を要求されるもの



# 【投稿論文と依頼論文】

投稿論文……通常の手続きで投稿し、審査を経て掲載。

依頼論文……編集委員会からの依頼を受けて書く（テーマのきまった特集論文など）。審査のある場合とない場合がある。